

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

**武田薬品工業株式会社**（証券コード:4502）

## 【据置】

長期発行体格付	AA-
格付の見通し	安定的
債券格付	AA-
債券格付（期限付劣後債）	A
劣後ローン格付	A
発行登録債予備格付	AA-
国内CP格付	J-1+

## ■格付事由

- 日本を代表する製薬会社。消化器系・炎症性疾患、希少疾患、血漿分画製剤、オンコロジー（がん）、ニューロサイエンス（神経精神疾患）、ワクチンを重点領域としている。医療用医薬品の売上収益は世界で上位に位置し、約80の国・地域で事業を展開する。売上収益の地域別の構成比（24/3期）は、米国が51.5%、欧州及びカナダが22.7%、日本が10.6%と比較的バランスが取れている。また、日米に研究拠点を置き、パートナーシップも積極的に活用することで、多様な創薬手法からなる開発パイプラインを構築している。
- 今後も強いキャッシュフロー創出力を保てる見通しである。独占販売期間が満了し販売減を見込む製品はあるものの、主力製品の販売は堅調である。現状程度の研究開発費を負担し続けられる余力を有している。財務基盤は安定している。成長投資と株主還元への資本配分を重視する方針だが、一定の財務規律を有しており、現状の財務基盤が大きく損なわれる懸念は小さいとJCRでは判断している。以上により、格付を据え置きとし、見通しを安定的とした。
- 25/3期のCore営業利益は1兆円（前期比5.2%減）と引き続き高水準の利益確保を計画している。VYVANSE（独占販売期間満了）によるマイナス影響はあるが、成長製品・新製品の拡販が進む。一方、財務ベース営業利益は、前期に計上したALOFISEL、EXKIVITY等に関する減損損失がなくなるものの、事業構造再編費用1,400億円が影響し、2,250億円（同5.1%増）に止まる見通しである。VYVANSE以降、30年代初頭まで独占期間満了に伴うマイナス影響は限定的に止まる可能性が高く、成長製品・新製品の拡販によってどの程度利益成長が実現するのか注目したい。
- 24年6月末の親会社の所有者に帰属する持分は8.0兆円、親会社所有者帰属持分比率は49.6%である（いずれも劣後債の資本性反映後）。24年6月末ののれんと無形資産は10.1兆円だが、これらの減損リスクに対し一定のバッファがある。調整後純有利子負債/調整後EBITDA（会社定義）は、TAK-279の取得などにより23/3期2.61倍から24/3期3.10倍へと上昇したが、中期的には2倍台前半へと徐々に低下していくとJCRでは想定している。

（担当）佐藤 洋介・本西 明久

## ■格付対象

発行体：武田薬品工業株式会社

## 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA-	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第16回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	2,500億円	2021年10月14日	2031年10月14日	0.400%	AA-
第1回利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債（劣後特約付）	5,000億円	2019年6月6日	2079年6月6日 （注2）	（注1）	A
第2回利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債（劣後特約付）	4,600億円	2024年6月25日	2084年6月25日	（注3）	A

（注1） 発行から2024年10月の利払日までは年1.72%。その翌日から2029年10月の利払日までは6ヵ月ユーロ円ライボーに1.75%を加えた値、その翌日から2044年10月の利払日までは6ヵ月ユーロ円ライボーに2.00%を加えた値、その翌日以降は6ヵ月（ただし2079年4月の利払日の翌日から満期償還日までは2ヵ月）ユーロ円ライボーに2.75%を加えた値。

（注2） 発行体により、2024年10月6日に全額期限前償還する旨、社債権者へ通知済み。

（注3） 発行日の翌日から2029年6月25日までは年1.934%。その翌日から2034年6月25日までは1年国債金利に1.400%を加えた値。その翌日から2049年6月25日までは1年国債金利に1.650%を加えた値。その翌日以降は1年国債金利に2.400%を加えた値。

対象	借入額	実行日	弁済期日	利率	格付
劣後特約付シンジケートローン	400億円	2024年10月3日	2084年10月3日	（注）	A

（注） 実行日（同日含む）から実行日の10年後応当日（同日含まない）までは基準金利に当初スプレッドを加算した値。実行日の10年後応当日以降（同日含む）から実行日の25年後応当日（同日含まない）までは基準金利に当初スプレッドおよび0.25%のステップアップ金利を加算した値。実行日の25年後応当日以降（同日含む）は基準金利に当初スプレッドおよび1.00%のステップ金利を加算した値。

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	5,000億円	2023年9月8日から2年間	AA-

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	5,000億円	J-1+

## 格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2024年9月30日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信  
主任格付アナリスト：佐藤 洋介
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2024年2月1日)、「医薬品」(2024年6月3日)、「ハイブリッド証券の格付について」(2012年9月10日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 武田薬品工業株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
なお、本件劣後債及び劣後ローンにつき、約定により許容される利息の支払停止が生じた場合、当該支払停止は「債務不履行」に当たらないが、JCRでは債務不履行の場合と同じ「D」記号を付与することとしている。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
  - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
  - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：  
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

## ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であると問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

## ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

## ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 **日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル